

# オペレーショナルリスク先進的計測手法 (AMA) 構築・検証支援コンサルティング

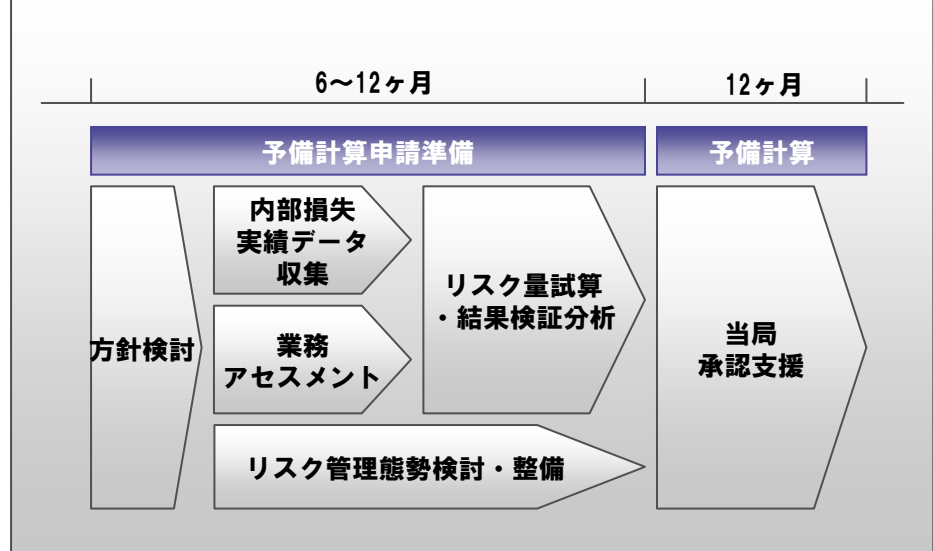
## AMA採用のメリット

先進性のアピール	リスクの実態を把握	リスクを適切に制御
現時点で、AMAを採用し金融庁から承認されている銀行は国内では数行だけです。AMA採用により、リスク管理の先進性を外部にアピールできます。	バーゼルIIで認められる3つの手法のうち、AMAは唯一リスクの実態を把握できます。したがって、オペリスクを勘案した収益性の評価など統合リスク管理に活用できます。	AMAはリスクの実態を反映しますので、統制強化によるリスク低減を把握することができます。また、リスク増大を抑えながらコストを削減する業務改革を可能にします。

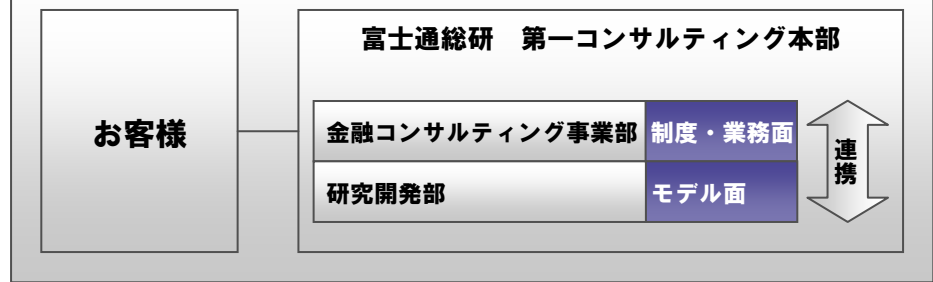
## AMA採用への課題

現時点では、オペリスク計測に関して、デファクトスタンダードとなるモデルはありません。さまざまなモデルが提唱されているため、どのモデルを採用するのが最善か明確でない状況です。	<b>ご提案のポイント</b> 大手銀行で実績のあるモデルをベースにコンサルティングを実施します。お客様のリスクプロファイルやご要望に基づいて、モディファイすることも可能です。
AMAを採用するためには金融庁の承認が必要になります。その際、リスク管理態勢やモデルの正当性などに関して、さまざまな観点で適正と認められなければなりません。	大手銀行におけるモデル構築検証支援をはじめとするバーゼルII関連コンサルティングで実績のあるメンバーが、定性/定量面で当局承認をご支援します。
AMAによるリスク算出には、オペリスクに関する損失実績データとアセスメント結果が必要です。これらは、リスク計量モデルの仕様に合致するように作成されなければなりません。	リスク計量モデルの仕様に合致するように、損失実績データの作成および業務アセスメントの実施をご支援します。作成/実施済みの場合は、最小限のコストで変換する方法を検討します。

## コンサルティング概要フロー・スケジュール



## 体制



## 実績

- ・オペリスク計量モデル構築・検証支援 (大手銀行)
- ・信用リスク内部格付手法採用支援 (6行 (うち承認済2行))